



NO.446

R6年10月1日

-発行-

〒869-1217

熊本県菊池郡

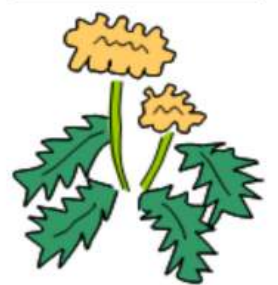
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



エビデンスに基づく支援を

施設長 木下昭二

あちらこちらで彼岸花が観られるようになり、猛暑続きだった日々から解放され、やっと秋らしさが感じられるようになりまし

ました。そのような中で、先月末石川県能登半島において、元日に起こった地震に続き、発生した豪雨災害において、被災された皆様にお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興が進むことを願っています。

10月といえば季節の変わり目を感じられる時期であると同時に、「スポーツの秋」「読書の秋」や「食欲の秋」または「紅葉を楽しむ秋」と表現されるなど、新たなことにチャレンジしたり、五感を使って色々なことを存分に楽しめる良い機会ではないでしょうか。

一方で秋は心と身体の状態にも、より多くの配慮が必要な時期に入ってきてます。秋の深まりとともに気温が下がり、日中と朝晩の気温差が激しくなることで体調管理が難しく、生活のリズムや体調を崩しやすくなるばかりでなく、集中力や持続力を保ち辛くもなってきました。特に自身の体調の変化や不調について適切に表現することが難しい利用者さんにおいては、普段では見られないような行動を示されたり、この時期特有の気圧の変化や、血圧の上下等に微妙に反応され、それが睡眠等にも影響し、情緒の不安定さに繋がったりすることもあります。そういった場合、日頃の利用者さんの状態をしっかりと把握し、理解しておかないと「何が、どう違って不調・不穏なのか」や、その原因が身体的な理由（内的

要因）による不調なのか、またはそれ以外の理由（外的要因）などによる不調なのかの判断がより難しくなってきました。一年を通して利用者さんを観察し、「この時期には、こういう症状や反応が見られた」という事実を記録に残し、利用者さん一人ひとりの反応や症状が、季節ごとや月毎のデータとして積み重なっていくことで、「最近、何かAさん調子悪いよね?」や、「この時期、誰でも体調崩しやすいわね」といった支援者側の「何となく…」といった主観的感覚による判断ではなく、きちんとしたデータに基づいて、「Aさん、そろそろ状態が不穏になりやすい時期だから、かかりつけのDr.に相談しよう」や「睡眠が乱れる時期に入るから服薬量の調整を提案してみよう」といった、先手の対応が出来る

ようになって欲しいと思っています。それは勿論医療的な部分（服薬量の調整など）で対応出来るものばかりでなく、その積み重ねられたデータを上手く活かすことで、私たち支援者側が早め早めに配慮することによって「利用者さんが大きく状態を崩さなくても済む」といったことにも繋がっていくと思います。

「まだ、そんなこと（データの活用）も出来ないの:」とお叱りを受けるかもしれませんが、活用出来ない訳ではありませんが、この体調を崩しやすい時期だからこそ、改めてデータの大切さとそこにきちんと向き合っていかなければならない:という思いを込めて、支援者の皆さんにメッセージとして発信したいと思います。





10月



「日々の運動」

涼しくなり過ごしやすい日々になってまいりました。作業では、午前中散歩に参加される利用者さんもいらっしゃいます。午前の作業時に、数名の利用者さんと散歩に行かせて頂きました。久しぶりの散歩ということもあり、ゆっくりとしたペースで、休憩を挟みつつ短い距離を歩きました。Aさんは歩き出すと笑顔が見られ、休憩されている時は、空を見上げて飛行機が飛んでいるところを眺めている様子がありました。休憩がおわってまた歩き出すと、Aさんは私の手を強く握って来られました。少しペースをゆっくりにすると、手の力が緩んだので少し疲れていたのかなと感じました。作業棟に戻られた後も笑顔が見られていました。適度な運動ができる時間を大切にしていきたいと感じました。

生活支援員 1班 菅原 恵太

「笑顔」

今年度で、担当して3年目になる利用者のAさん。1年目に比べ、Aさんが私の前で笑顔を見せてくれることが多くなってきていると感じています。最近の印象的だったエピソードは、24時間テレビで銀河鉄道999をアーティストが歌唱している場面です。真剣な眼差しで視聴されており、それが終わった後のとても素敵な笑顔に私までほっこりさせられました。Aさんが水戸黄門のオープニング曲を好きなことは知っていましたが、銀河鉄道999好きだということは知らず意外な気付きでした。今回は好きな物に触れての笑顔でしたが、ワクワクするときの笑顔、努力して課題や問題を乗り越えられた時の達成感から来る笑顔…笑顔にも様々なものがあります。しっかりと利用者さん本人への理解を深め、私との信頼関係を構築していくことで、利用者さんの沢山の笑顔を引き出せる支援員になって行きたいです。

生活支援員 2班 白石 峻真



「心に残るシードーナツ」

9月12日、3班レクリエーションが実施されました。今回は同じ場所ですが男子グループ、女子グループに別れての行程でした。天草のシードーナツでの観覧、昼食は海鮮料理、おやつはリゾラテラスで、それぞれが好きな物を選び購入しました。私達、女性グループは天気も良い中、ワイワイガヤガヤの女子会を楽しみました。海鮮丼を美味しく食べるさん、珍しい魚などを見ては楽しそうに話しをするHさん、それを真剣に眺めているSさん、足元から海が見える橋を渡る際に怖がるAさんを見て、優しく声をかけているHさん、大きな亀と一緒に楽しそうにしているFさん、本当に皆さんステキな笑顔でした。帰園後も利用者の皆さんが「楽しかったねー」とおっしゃっていた心に残るレクリエーションでした。

生活支援員 3班 岩下 恵子

「ドラえもんプラネタリウム」

暑かった今年の夏も、9月下旬よりようやく涼しさを感じるようになりました。8月は暑さ真っ盛りの中、コロナ静養となり、制限下での生活となりました。多くの利用者さんが楽しみにされていたであろうお盆の帰宅も叶わぬ事態となり、窮屈な思いをされたことと思います。

そんな8月が終わり、9月6日。久しぶりに4班レクリエーションを実施しました。まずはカーリーノ菊陽にて腹ごしらえをし、いざ、熊本博物館へ！ ドラえもん仕立てのプラネタリウムはストーリー性があり、大人から子どもまで楽しめるものでした。館内の暗さに初めは少し戸惑っていた利用者さんも、徐々に慣れていかれ、最後まで鑑賞することが出来ました。久しぶりの外出で4の班皆さんの笑顔がたくさん見ることができ、利用者さんは元より私たち支援員にとっても素敵な夏の思い出になったと思います。

季節は少しずつ秋めいて来ました。これから寒い季節へと向かいます。利用者さんの体調管理に気を配り、これからも過ごしたいと思います。

生活支援員 4班 米田真意子



「△を芸術に?!」

5班は、作業も頑張っていますが、金曜日の午後からは創作活動も行っています。この間、シール折り紙という物を購入し、色んな色・形・大きさに切った三角形を、利用者さんに渡してみました。始めは「何、これ」という表情をされるばかりでした。私の担当のAさんが「玉永さん。ちょうちょ」と話かけられました。見てみると同じ色・大きさぐらいの三角近くにおいていたカラフルなペンで触角と胴体を描き加え、誰が見ても「ちょうちょ」とわかる作品を作られました。今回は晴れていたなので、外にでて写真撮影を行いました。とびっきりの笑顔で嬉しそうに作品を自慢されている様でした。その他にも、三角形をずらして花のようしたり、重ねてみたり、人の髪の毛にみせたりと「十人十色」の作品が出来上がりました。これからは、利用者さんの楽しみを共に共有できる様寄り添っていきます。

生活支援員 5班 玉永 咲希

療育雑記

『言葉と心』

生活支援員 石原佳奈

三気の里の利用者の方には言葉で意思を伝えることが難しい方が多く、ジェスチャーやサインでしたいことや聞きたい事を伝える方がいます。もちろん言葉を使って訴えられる方もいます。私は言葉でのコミュニケーションが難しい方には、絵カードや文字カード、ジェスチャーなどを用いて、伝えたいことを理解出来るよう、汲み取れるよう支援をしてきました。言葉がある方とのコミュニケーションは言葉での会話を重点的に接することが多かったと思います。どこか言葉に頼りきってしまい、言葉で発せられることがその方の考えていること、思っていることだと思い接していたと思います。Aさんは行事（給料外出やレクリエーション、買い物等）を「楽しみです」「行きたいです」とよく言われ、私自身Aさんは楽しみを作ることが出来る

方だと感心していました。Aさんと関わる機会が増え、欲しい物、行きたいところ、したいことを話されるがまま、本人の楽しめることだと思い、見通しがたち、楽しんで過ごして欲しいという思いで一緒に予定をたて支援してきました。しかし、楽しみがあるとその楽しみばかりが気になり落ち着けず、するべき事に意識を向けられなくなり、楽しみとする日までの生活も適切に過ごせなくなっていききました。その事が楽しみができなくなるかもしれないという更なる不安感に繋がっていききました。楽しみに向けて頑張ることが難しくなってきた。その時はどうしたら楽しみが楽しみになるのだろうと思う、様々な方法を考え、支援や関わり方を変えながら先輩方にアドバイスをもらい、スケジュールの提示の方法、ABA（応用行動分析）、氷山モデルなど取り組んできました。Aさんと関わる中で、徐々に楽しみと言葉では表現していることが、本人の望むものではないのではないかと考ええるようになっていきました。買い物や食べる

事、出かけることが元々は好きなことに間違いないのでしようが、刺激（落ち着けなくなる原因）になっているのではないかと考えた時にAさんの行動に納得がいき今までの、楽しみは楽しめるはずという考えは不親切だったのではないかと反省しました。言葉をそのまま捉えるのではなく、Aさん自身も気づいていないかもしれない辛さを目を向け、刺激になってしまう事柄に対してどう支援していくのかを考え始めました。また今回の取り組みを通して、Aさん以外の言葉で表現される方も同じような状況があるのではないかと考える事にも繋がりました。言葉を大事にする反面、その言葉が本心なのか本人の困っていることに向き合っているのか、言葉では表現できないことに気づき、支援を考えて行くことが必要だと考えさせられました。また、言葉や別の表現でも本人の困っていることが誰にでも伝えることが出来るよう、表現の仕方や伝え方を一緒に考えて行くことが大切で、そのためには本人も気づいていないかもしれ

ない困りや困難な部分を気付いて行けるようアセスメントをして行くことが重要だと思いましたが、Aさんとの取り組みは現在進行形ですが、Aさん自身が穏やかに過ごせる日常に近付けるように、考え取り組みを行っています。



人材確保

部長 松本慎太郎

10年くらい前までは、目を瞑っていても、お金をかけなくても、働く人が足りないといったことにそこまで困らなかつた時代がありました。世の中の情勢から、人材不足が問題になり始め、三気の里でも何かしらの手を打つべきだといこうことから、平成29年から本格的に力を入れました。就職ポータルサイトを利用したり、就職フェアに参加したり、熊本や県外の施設の方々と協力し合うこともありながら、人、物、金を使って、あの手この手と奮闘してきました。令和2年には人材確保委員会を立ち上げ、施設における業務の位置づけを明確にし、引き続き取り組んでいます。三気の里では「毎年一人は新卒者を採用する」という至上命題みたいなものがあり、私を知る限り20年以上、毎年、必ず新卒者を採用者していました。今年の新卒採用者は0という結果になってしまいました。悔しい限りです。来年は必ず新卒者の採用をやっていますが、中々厳しいのが現状です。どうにか新卒の方を採用で

きるよう残り半年頑張っていきたいと思えます。

レクリエーション

3班レクリエーション

生活支援員 小林 奈央

「夏」と言えば「海!」、「海」と言えば「天草!」と言うことで、三気の里から約2時間かけて、天草のパールサンビーチとシードーナツへ行きました。お昼ご飯は、三気の里ではなかなか食べるのできない海鮮丼を食べ、夏を満喫することができました。



4班レクリエーション

生活支援員 相馬 敦

4班は博物館にドラえもんプラネタリウムを鑑賞しに行ってきました。館内に入るとすでに薄暗く普段とは違う空間です。リクライニングシートをほぼ水平にして準備を整えます。やがて少しずつ暗くなり、真っ暗になった夜空に満天の星空が映し出されました。星を指差しながら「おお〜」と歓声を上げる方、拍手をされる方、流れる音楽に合わせて指揮者のようにリズムをとる方、じーっと鑑賞される方、ドラえもんを手を振っていい方、それぞれに時間を過ごされていました。内心はいつもと違う椅子や空間でワクワク、ドキドキだったかもしれせん。上映が終わわり、明るくなった館内で見た皆さんの表情に少しホッとしました。余韻が残る和やかな雰囲気の中、和らいだ表情で過ごした時間が印象深いレクリエーションでした。



5班レクリエーション

生活支援員 松村 雄一

『頑張ったご褒美』今年度も早々と長い長い戦いとなる猛暑がやってきました。更には8月にコロナウイルスの施設内クラスター感染と、中々外に出る機会が減り、室内で過ごす機会が増え、利用者の方々には我慢の連続だったと思います。そんな中、今回、1回目となる5班レクリエーションに出掛けてきました。行先は天草。昼食を「福伸」さんで、普段、園の食事では食べられないような新鮮な魚料理などを食べ、利用者の方もとても満足気な様子で食事を終えました。おやつでは、「藍の天草村」でソフトクリームやジェラート等、食べたいものを選びながら購入されています。今回、久々の遠出ができません。利用者の方々も外の景色を覗ながら、ゆったりと過ごされました。



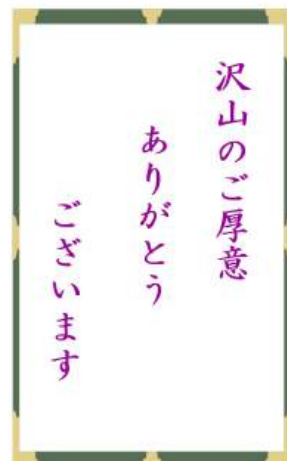
10月スケジュール

10/02(水) 大津町がん検診 (～10/4)
 10/04(金) アンパ創作活動 芸術クラブ
 10/05(土) 家族会懇親会
 10/08(火) 1班レクリエーション
 10/12(土) 運動会
 10/13(日) 施設親善スポーツ大会
 10/15(火) 田中医師ケースカンファレンス
 10/17(木) 嘱託医来診
 10/18(金) アンパの日 おとなりマルシェ

10/18(金) ゴールドクラブ
 10/20(日) 福祉祭り
 10/22(火) 2班レクリエーション
 10/28(月) ふれあい交流会 (カット)
 毎週月曜日 訪問理容サービス
 毎週火曜日 BeTREE役場販売
 BeTREE
 <営業時間>9:30～17:30



betree314



【寄付物品】

吉田 和信様 柴田 博子様
 米田 孝一様 米村 秋江様
 魚谷 秀文様 田中 満子様
 櫻木 勇夫様 清田 栄一様
 渡邊 正司様 松村 俊介様
 中村 秀隆様 福永 敬子様
 赤星 央子様 森川 琇介様
 中嶋 久枝様 金森 保様
 東坂 富士代様 井手 上昌子様
 藤本 栄之助様 岩切 美佐子様

【寄付】

藤井 法仁様 有馬 幸雄様
 前田 克英様 田中 満子様
 井口 チズヨ様

【後援会】

野口 公美様 千田 英文様
 田中 基幹様
 佐々木 智征様

編集後記

レクリエーションが実施されたので各班のレクリエーションの様子を載せたいと思います。10月の朝晩は涼しくなり、過ごしやすい時期になりましたが、日中はまだ暑いので、熱中症等には気を付けて行きましょう。

中村 圭

